

平成 30 年度 介護老人福祉施設ケアホーム三浦 事業報告

2年目を迎えた平成30年度は、開設年度の各事業立ち上げから、平常のサービス提供に移行しました。地域での認知度も少しずつ上がり、見学の問い合わせや近隣の保育園児や中学生、民生委員の来苑、養護学校の生徒の実習受け入れなど地域との交流がふえてきました。また、秋祭りや、若宮神社の例祭への参加、初詣、河津桜の見学などご利用者と一緒に楽しめる企画も実施することができました。職員も、たん吸引研修や、職員交換研修、認知症研修、調理コンクールなどの研修へ参加をしました。

反省点としましては、職員安定的な雇用、特に介護・看護職の人員不足の解消、居宅のケアマネジャーの増員ができなかったことが挙げられます。職員の安定的な雇用は質の向上にもつながりますので、求人活動と職員の育成をすすめていきます。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
特養	95	98	99.5	99.6	97.3	96.7	98.5	96.8	99.2	97.9	99	99.2	1176.7	98
短期	15	16.3	17	16.8	17	17	17	16.5	15.4	17.5	16.4	16.4	198.3	16.5
通所	19.4	19.6	20.9	19.4	19.5	19.4	19.3	18.3	18.4	18.5	18.2	17.7	228.6	19.1
居宅	36	33	37	38	33	35	37	37	34	34	34	33	421	35.1

特養に関しては、待機待ちの方が常時50名ほどいます。近隣の三浦市立病院、横須賀市民病院、うわまち病院など総合病院地域連携室からの紹介も継続的に入るようになりました。入院が増えた月やインフルエンザの発生時のベッド調整がうまくいかなかったことがありましたので、100%の稼働に近づけるようベッドコントロールを行ってきます。

ショートステイに関しては、長期利用の方が増えて稼働率が昨年度より安定しました。ただ、急なキャンセル後の対応や、ショートから特養に移動する際に空床になることが多かったので、連携を取りながら稼働率を上げていきます。

デイサービスに関しては、安定的に推移していますが、後半少しずつですが、平均値がおちており、平均20名を超えるよう再度利用者獲得をおこなってまいります。

居宅介護支援事業所は1名のケアマネジャーで運営しており、新たなケアマネジャーの獲得をおこない、地域の窓口として積極的に活動できるよう体制づくりを進めていきます。